

# 6月定例議会 町政報告

令和7年第4回小坂町議会が6月18日から25日までの会期で開かれ、条例制定・条例改正・補正予算等9議案が可決されました。町政報告の要旨をお伝えします。

## 町政報告要旨

### ▼地域おこし協力隊の任用について

令和7年度は3つの分野で活動する協力隊員を募集したところ、4月から新たに2名が小坂町の協力隊のメンバーに加わりました。

一人は、近代化産業遺産を活用した観光の企画立案を行う「明治百年プロデューサー」に着任した「田代俊之」さんです。

田代さんは、神奈川県藤沢市出身で藤沢市役所に25年間勤務し、文化財の保護、活用を担当していたことがあるほか、スペインの大学院に留学し文化遺産の管理について学んできました。

小坂町には旧鉾山に関連する歴史とすてきな建物が残っているのですが、これにストーリー性を持たせることで旅行

商品を開発してみたいし、できれば鉾山鉄道を再び走らせたい、また、スペイン語圏からの誘客にもチャレンジしたいと夢を膨らませています。

観光産業課観光商工班に籍を置き活動を始めています。

もう一人は、ブドウ栽培やワイン醸造に携わりながら「グリーンツーリズムの推進」をめざす「齋藤慶顕」さんです。

齋藤さんは、小学校低学年までは出身地である大館市で過ごし、小坂町にも遊びに来たそうです。都内のイタリアンレストランでの勤務経験からワインに興味を持つようになり、特に「日本ワイン」への関心が強く、秋田に還元する仕事に携わり県外に発信したいと、小坂町への移住を決めました。

活動内容は、ブドウ栽培、産直施設や小坂七滝ワイナリーでの補助業務となります

が、将来はワインの知識を高めてソムリエの資格を取得したり、小坂町産ワインの認知度の向上、販売の促進に向けて酒類販売業免許を取得したいと意気込んでいます。

### ▼観光客の入り込み状況について

今年の4月27日から5月6日までのゴールデンウィーク期間は、桜の開花が例年より大幅に早かったことから、周辺の桜名所を巡る人流が少なく天候不良も続き、町内観光施設ではだいぶ苦戦したように感じられます。

明治百年通りの観光3施設全体の数字を見ますと、昨年に比べ22・2%の大幅減となりました。

施設別に見ますと、康楽館が1,018人で昨年の1,279人と比べ20・4%の減、小坂鉾山事務所が964人で昨年の1,145人と比べ15・8%の減小、小坂鉄道

レールパークが1,073人で、昨年の1,501人と比べ28・5%の減となっております。

道の駅十和田湖は18,732人で、連日駐車場は、ほぼ満車状態のようでした。一方、道の駅さか七滝は1,923人でした。天候不良であつたことから、前年より大幅に減少しています。

また、小坂鉄道レールパークのブルートレインあけぼの号宿泊者数は、5月3日が27人、4日が28人で、首都圏を中心に遠くは関西地方、四国地方からも来場いただきました。

康楽館への教育旅行状況は、昨年度62校、6,491人の実績に対し、現在までの実績と予約を含めて、59校、6,700人の来館を見込んでいます。昨年度に比べ利用人数は若干のプラスとなりますが、少子化の進行と併せ教

育旅行のあり方について、学校側の考え方が変わってきていることもあり、今後も校数の減少が続くと考えられます。来期以降に向けて学校や関係機関と連絡を密にし、ターゲットの変更も視野に入れながら、旅行代理店に対する営業強化を図る必要があると考えています。

### ▼第40回アカシアまつりについて

6月7日・8日、第40回目となるアカシアまつりが中央公園で開催されました。今年はまつり開催に合わせたように開花し、2日間とも好天に恵まれたこともあり町内外から16,000人のお客様が訪れ、まつりを楽しんでいただけたものと思います。

屋外ステージでは小坂小・中学校の児童・生徒による演奏や演舞に始まり、秋田県出身の人気お笑いコンビや秋田県警音楽隊、大館市出身の